

ヒトラーの墓 2020-10-9

墓などありません。仮定の話です。もし、ヒトラーの墓があるとすればどんな状況が予想されるでしょうか。

先日、学生にヒトラーのことを知っている？と尋ねたところ、「知っていますよ。ユダヤ人を沢山殺した人でしょう。小学校のとき習いましたよ」と、この年寄りは何を馬鹿なことを聞くのかといった態度で答えが返って来ました。しかし、その外にはと訊くと、答えはありません。戦争も遠くなりにはけりです。

で、少し学生に説明しました。1929年に世界経済大恐慌が起こり、不況に喘ぐドイツで、ヒトラー（1889-1945）はナチス党（国家社会主義ドイツ労働党）で頭角を現し、ドイツ国首相、続いて、総統になり、独裁指導体制を樹立した後、1939年9月1日、ポーランドに侵攻して、第2次世界大戦を起こし、ヨーロッパ全土を戦乱に巻き込んだ張本人だと。でも学生たちの反応はいまひとつでした。

ドイツは近隣諸国を侵略し、多くの人命を奪い、領土を破壊します。しかし、結局は連合軍に、1945年5月8日、無条件降伏をしますが、ヒトラーは降伏前の4月30日に自殺します。遺体は遺言によって焼却されるのですが、焼け残った遺体は、当時ベルリンを占領していたソ連軍にマクデブルクに運ばれ、ソ連諜報機関の事務所前の舗装の下に埋められていました。その後、ネオナチの崇拜目的になることを恐れ、遺体を再び焼却し、遺灰をエルベ川に流しています。したがって、ヒトラーの墓はないわけです。

で、ヒトラーの墓があったらということですが、ドイツのメルケル首相を始め、閣僚達が参拝するでしょうか。絶対にないでしょう。その理由として、彼らは非常に合理的にものごとを考えることができ、惻隱の情もある優秀な民族だと思います。もし、政府関係者が参拝したとしたら、ドイツに侵略され悲惨な目にあった近隣諸国から総反発が起こるでしょう。そして、ドイツは国の品格と信頼を失い、ヨーロッパ社会の不安が増大することは必定です。

ヒトラーの墓はないのですが、ドイツ戦犯で終身刑になった副総統のルドルフ・ヘス（1894-1987）には、ヴンジーデルという街に墓がありました。困ったことに、ヘスの死後、彼の命日にネオナチがこの街に集まるようになり、ナチの聖地化へのおそれがでてきました。そこで、2011年に遺骨は再び焼却され海に捨てられ、墓は取り壊されました。ドイツ人の合理主義的思考と決断そして実行には感心します。

現在、ヨーロッパ連合の中心的役割を果たしているドイツ人は非常に優秀な民族であることは間違いのないと思います。この優秀な民族の中に、チョット説明がつかないネオナチの登場はどうしたことでしょうか。人間は複雑です。

ダービン先生に聞いてみたいのですが、確かに人間は多くの知識を得て賢くなりましたが、「思考というか精神と」という面で、進化しているのでしょうか。

ダービン先生は、「いやいや進化には、数千万年から数億年の時間がかかるよ、まあ、その時は人間の脳は無くなって、AI脳かもしれないね」と言われるかも知れません。

「それで、世界は平和になるのでしょうか？」

「それは、人類の進化、それとも退化でしょうか？」

ダービン先生 「??？」